

3月期、2期連続増益

岐阜信用金庫（岐阜市神田町、高橋征利理事長）が15日発表した2015年3月期単体決算は、取引先の業績向上に伴い与信関係費用が減少し、純利益が前期比68・8％増の73億8000万円と2期連続で増益となった。

県内金融機関2015年3月期決算

	経常収益	経常損益	純損益
岐阜信用金庫			
(単)	36,708 (0.3)	8,847 (25.8)	7,380 (68.8)
(予)	33,500	3,600	3,250

【注】単位は百万円、%。(単)は単体、(予)は2016年3月期予想。カッコ内は前期比増減率。

損益面では、金融機関間の競争激化による金利低下で、貸出金利息が減少。一方、一般貸倒引当金が減少するなど、与信関係費用が減ったことが増益に寄与した。経常利益は25・8%増の88億4700万円。本業の収益力を示す実質業務純益は資金利益の低下などが響き、17・3%減の7億2800万円。 期末預金残高は、個人、法人ともに増加し、2・8%増の2兆2044億円。期末貸出金	残高は、設備投資などの資金需要の高まりを背景とした企業向け融資、住宅ローンなどの個人向けが伸びたものの、1兆2849億円の、1兆2849億円とほぼ横ばい。財務の健全性を示す自己資本比率は0・26_{ポイント}上昇の10・48%で、国内基準の4%を上回っている。 16年3月期は与信関係費用を保守的にみて、減益を予想する。
---	--